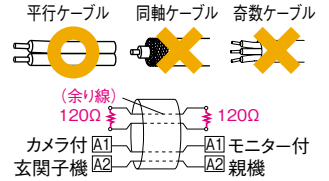


テレビドアホンへの取り替え上のご注意

下記注意事項をよくお読みのうえ、機器の取り替えを行なってください。

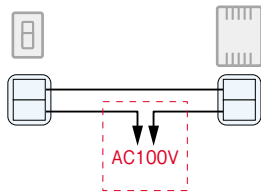
配線上の注意事項

- 配線ケーブルはポリエチレン絶縁ビニール被覆のケーブルを使用すること(例=OP:沖電線、FA:富士電線、AE:伸興電線、CA:中央電線)。同軸ケーブル、2PrカッドVうち線、3芯など奇数のケーブルは使用不可。
- 2芯以外で余り線がある場合は、右図のように余り線の両端に120Ωの抵抗をつなぐこと。(通話ができないなど正常に動作しなくなる恐れがある。)
- 配線ケーブルは強電線(AC100V、200V)とは30cm以上離して配線すること。ノイズや誤動作の発生の原因となることがある。既設の配線を利用する場合は、その線の種類によっては正常に動作しないことがある。そのときは配線の入れ替えが必要となる。
- 既設の配線が劣化している場合は、機器取り替え後、正常に動作しなくなる恐れがある。そのときは配線の入れ替えが必要となる。

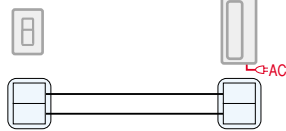


既設機器

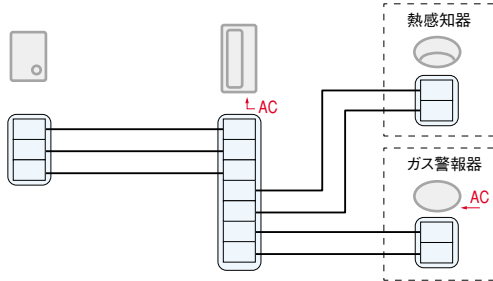
■チャイム(AC100V式)の場合



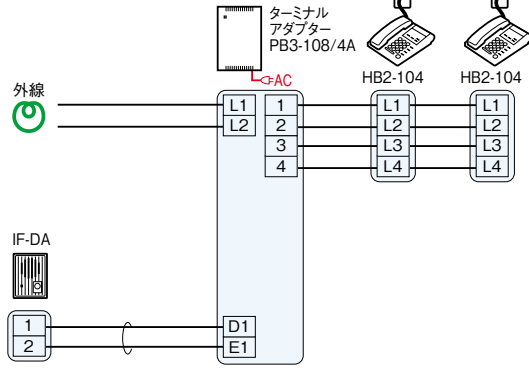
■チャイム・インターホンの場合



■熱感知器、ガス警報器が連動している場合



■ホームテレホン(HB2-104)の場合

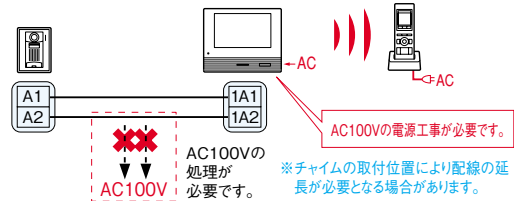


■オートロック、管理室、非常通報盤などにつながっている集合マンション等

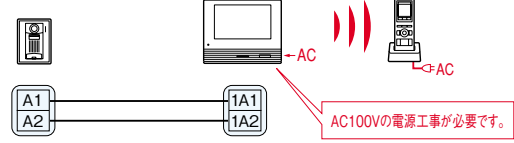


テレビドアホン

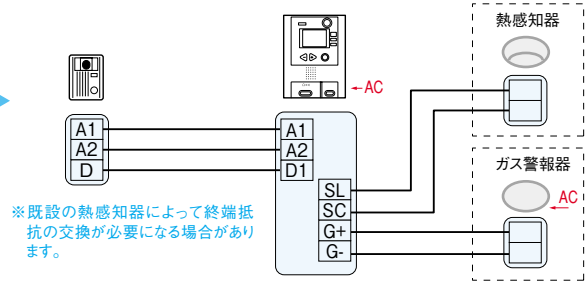
おすすめ ROCOタッチ7



おすすめ ROCOタッチ7

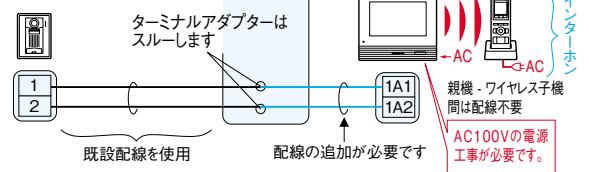


おすすめ QH録画2・2



ホームテレホンのドアホン機能は使用できなくなります。

おすすめ ROCOタッチ7



- 戸建住宅用テレビドアホンへの取り替えはできません。システム全体の取り替えが必要です。

→P.260 参照

詳しくは弊社担当者までご相談ください。